



アトリエ和沙  
ドライフラワー・コーディネーター

金 和子さん

秋田市広面大巻13-2  
TEL.018-837-8926  
<http://www.cna.ne.jp/~a-kazusa/>



朽ちて、鮮やかな色。

乾いて、うるおう花。

季節からの贈り物を、  
歩いては見つけ、  
出かけては探す人がいる。  
今日はどんな植物と出会うかな。  
秋田の景色の中で揺れている  
小さな草花の新鮮さを、  
風を友達に、手で封じこめて。

幼いころから、野の草花と遊んでいた少女が、ある日、野生のあけびの蔓と出会う。それを丸めたり巻いたりして、ごく自然にリースやオブジェを作り始めた話。話す金和子さん。「いつもいろんな人に助けていただいて、続けてこられました」と笑う。

今年もアジサイが咲きましたよ、という近所の方からの電話や、こんな見つけましたよ、と届く遠方の知人からの小荷物など、植物を通じて得た出会いが、何よりもありがたく、うれしいと金さんは話す。

10年ほど前、好きに創作をしていた金さんは、「教えてほしい」という声をきっかけに、東京の藤島新主催のドライフラワー教室に通い出した。10年を経た現在も、月1回のペースで、東京行きを続けている。「東京に行くと、かえって秋田の自然をつくづく感じる事ができて、その思いが作品づくりの刺激になっています」。

作品の主役は、秋田の野山や土手、庭などで見つけた小さな草花だ。採集するタイミングが大切だという。ゆつくりと自然乾燥することで、植物たちは深みのある色合いをまとうていく。そして、金さんの手によって、季節ごとの光と匂いまでも感じさせる繊細な形に生まれ変わる。

秋田市の他に、本荘市や東京の三鷹市で教室を開き、毎年行っている個展は今年で19回目を迎える。「楽しんで作る」という金さんの作品は、生花とはまた違った素朴さと、可憐な華やきを心に灯す。